

～神戸新聞などで紹介されました！～

令和2年1月6日（月）の神戸新聞に取り上げていただきました。

月曜日

神戸

新聞

第43779号

（明和21年2月12日第3種郵便）

（明和21年2月12日第3種郵便）

独居高齢者ロボが見守り

市川町 無償レンタルへ

兵庫県市川町は2月から、独居高齢者を見守る小型ロボットの無償レンタルを始める。ロボット付属のカメラとセンサーで人や室内の変化を察知し、離れて暮らす家族らのスマートフォンなどに写真やメッセージを送る。NEC（東京）との共同事業で、全国で2例目、近畿では初の試み。2カ月間の実証実験として7世帯にロボットを貸し出して需要などを分析し、2020年度からの本格導入を目指す。

（井上太郎）

ロボットは高さ約30センチ、重さ約2.5kgの「パペロ アイ」。座布団に座っているの動きを目で追う。朝昼晩の1日3回、パペロ



暮らしぶりや異変、家族に通知



さまざまな会話や、離れて暮らす家族との通信ができる見守りロボット「パペロ アイ」＝兵庫県市川町役場

ロボが高齢者に話し掛け、在宅を確認して写真を撮影。登録した家族ら最大20人のスマホなどに送り、異常がないことを知らせる。定刻から2時間以上、高齢者の姿がないと「留守のようです」と報告。留守が続くと家族が異変を察知することができ、遠隔操作でパペロの顔を180度動かす「緊急

急撮影」モードもある。高齢者側からも好きなときに、パペロに声を吹き込んで音声メッセージを家族に送れるほか、音声でテキストに自動変換してメールも送信可能。スマホやパソコンのような複雑な操作なしに、遠方の家族とコミュニケーションがとれる。付属のディスプレイでは家族が送ってきた写真、メッセージや、健康づくりのための体操の動画も見られる。

丸くて愛らしい顔で映像や音を認識し、首をかしげたり、LED（発光ダイオード）を点滅させ「感情」を表現したりするのも特徴。会話も交わるといふ。

NECはパペロの個人契約はしておらず、18年に愛媛県西条市と共同で初の実証実験を実施。高齢者やその家族に好評だったといいい、昨年1月に有料で本格運用を始めた。現在、9世帯が利用しているという。

市川町は、要介護認定を受けていない高齢者の利用を想定。実験中は初期費用3万8500円と、月4500円（いずれも税別）の利用料を町が負担する。利用者の評価を分析し、有料での導入を検討する。

（第3種郵便物認可）
神戸新聞
2020年（令和2年）1月10日 金曜日

独居高齢者支援 モニター募集

市川 ロボットは同社製の「パペロ アイ」（高さ約30センチ、内蔵のWi-Fiでインターネットにつなぐ）で、固定式だが、顔認識カメラを搭載した丸っこい顔で人の動きを追いかけて声を拾う。1日3回高齢者の在室を確認し、離れた家族やケアマネジャー宛てに写真とメッセージを送信。部屋の室温や消灯時間も伝わる。

市川町の高齢化率（2019年2月時点）は県平均を9・1ポイント上回る37・5％。町は介護予防効果による医療費、介護費の抑制を視野に、普及を目指す。今月7日の実演会では、パペロが高齢者役の町職員に話しかけて写真を撮ったり、付属のディスプレイで体操の動画を再生したりする様子を紹介した。

先行する愛媛県西条市の利用者は話し相手として重宝する傾向があるという。この日、デイサービス利用者はパペロとの会話に挑戦。「明るいニュースを教えてください」（高齢者）、「地味なやつね」とはぼろい。

見守りロボット使ってみて

NEC（東京）と共同で、全国2例目となる見守りロボットの貸し出し事業を始める市川町は、ロボットを利用する独居世帯の募集を始めた。モニター期間は2月から3月末まで。

での2カ月間で、7世帯を対象。このほかに、保健福祉センター（同町甘地）で実演会を開き、デイサービス利用者らに多様な機能を紹介した。（井上太恵）

実演会 会話など機能披露



99

掲載内容に関するお問い合わせはこちら



健康福祉課 介護係

住所：679-2392 市川町西川辺1 6 5 - 3

TEL：0790-26-1014 FAX：0790-26-1989 E-Mail：[こちらから](#)